

# グリーンボンド / グリーンボンド・プログラム 外部レビューフォーム

## セクション1. 基本情報

発行体名:	GPSSホールディングス株式会社
グリーンボンド又は フレームワークの名称	GPSSホールディングス株式会社 グリーンファイナンス・フレーム ワーク
外部レビュー者名:	株式会社 日本格付研究所
本フォーム記入日:	2020年3月26日
レビュー公表日:	2020年3月26日

## セクション 2. レビューの概要

### レビュー対象

本レビューでは、以下の要素について審査し、グリーンボンド原則との適合性を確認した。:

- |  |  |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 資金使途 | <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクトの評価と選定プロセス |
| <input checked="" type="checkbox"/> 資金管理 | <input checked="" type="checkbox"/> レポーティング          |

### ROLE(S) OF Independent External REVIEW PROVIDER

- |                                    |  |
|------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> セカンドオピニオン | <input type="checkbox"/> 認証                    |
| <input type="checkbox"/> 検証        | <input checked="" type="checkbox"/> スコアリング/格付け |
| <input type="checkbox"/> その他:      |  |

注:複数のレビュー、異なる提供者がいる場合、レビューごとに個別のレビューフォームを提供してください。

## レビューのサマリー 及び 評価レポート全文へのURLリンク

GPSSホールディングス株式会社（GPSS）は、2012年に日本メガソーラー整備事業株式会社として設立された、再生可能エネルギーの開発を手掛ける会社である。GPSSは2019年12月時点で全国に72件140MWの再生可能エネルギー発電設備（開発中含む）を有しており、再生可能エネルギーに係る契約から開発、建設、運営といった上流から下流までをGPSSグループ内の子会社でカバーする体制を築いている。GPSSでは、再生可能エネルギーによる電力コストが既存の電力コスト以下になる「グリッドパリティ」およびグリッドパリティによる持続可能な社会の形成を目指している。日本全国の各地域が再生可能エネルギーによって持続可能な社会を構築し、新たな価値を生み出すことに貢献することを方針としている。

GPSSでは、この方針を達成するために「サステナビリティ方針」を策定しており、サステナビリティ方針では、ESG（環境・社会・ガバナンス）に関して達成すべき10項目が掲げられ、GPSSはその達成に向けて取り組みを行っている。JCRでは、GPSSがサステナビリティ方針の実践のために「サステナビリティ委員会」をはじめとするサステナビリティに関する推進体制を定めて、サステナビリティに係る活動を推進することを確認している。

今般の評価対象は、GPSSがグリーンボンドおよびグリーンローン（グリーンファイナンス）により調達する資金を、環境改善効果を有する資金使途に限定するために定めたグリーンファイナンス・フレームワーク（本フレームワーク）である。本フレームワークが「グリーンボンド原則（2018年版）」、「グリーンローン原則」、「グリーンボンドガイドライン2020年版」および「グリーンローンガイドライン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2020年版」に適合しているか否かの評価を行う。「グリーンボンド原則」、「グリーンローン原則」、「グリーンボンドガイドライン2020年版」、「グリーンローンガイドライン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2020年版」は、それぞれ国際資本市場協会（ICMA）、環境省、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）およびアジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション（APLMA）が自主的に公表している原則またはガイドラインであって規制ではないため、いかなる拘束力を持つものでもないが、現時点においてグローバルに統一された基準として当該原則およびガイドラインを参照してJCRでは評価を行う。

本フレームワークでは、グリーンファイナンスで調達した資金は、1.太陽光発電、2.風力発電、3. 中小水力発電（1メガワット未満を中心とする）に対する開発費用を含む設備投資資金およびそのリファイナンスに充当される予定である。JCRでは、当該資金使途は、再生可能エネルギーとして脱炭素化に資するグリーンプロジェクトであり、環境改善効果が高いと評価している。上記発電設備建設、運営に際して想定される環境・社会面への負の影響については、社内の専門知識を有する部署によってプロジェクトの完成までに数次のチェックが行われるほか、大規模開発については第三者による技術評価レポートや弁護士意見を取るなど、リスクを把握し対策を講じることで、影響を最小化する体制を確保していることから、負の影響が環境改善効果を上回る蓋然性も低い。

GPSSはグリーンプロジェクトの選定基準や選定におけるプロセスが定められているほか、調達された資金は充当されるプロジェクト毎に分別管理されること、資金充当状況および環境改善効果に関するレポートを毎年公表予定であること、環境改善効果に係るKPIについても適切な設定がなされていること、GPSSの組織としての環境への取り組みも経営陣のリーダーシップの下、各部門で行われていることから、JCRではGPSSが強固な管理運営体制を構築し、調達を行うグリーンファイナンスに関して高い透明性を有していることを確認した。

この結果、本フレームワークについて、JCRグリーンファイナンス評価手法に基づき、「グリーン性評価（資金使途）」を“g1(F)”、「管理・運営・透明性評価」を“m1(F)”とした。この結果、「JCRグリーンファイナンス・フレームワーク評価（総合評価）」を“Green1(F)”とした。また、本フレームワークは「グリーンボンド原則」、「グリーンローン原則」、「グリーンボンドガイドライン2020年版」および「グリーンローンガイドライン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2020年版」において求められる項目について基準を満たしているとJCRは評価している。

評価レポート全文へのURLリンクは以下をご参照。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

# セクション 3. レビューの詳細

レビュー者は、できる限り以下の情報を、コメントの枠を使用し、できる限り提供することが推奨される。

## 1. 資金使途

### 本項目に係るコメント欄：

#### a. プロジェクトの環境改善効果について

- i. 資金使途として本フレームワークで掲げられたグリーン適格事業は、太陽光発電、風力発電および中小水力発電の再生可能エネルギー事業であり、環境改善効果が高い
  
- ii. 資金使途は、「グリーンボンド原則」、「グリーンローン原則」、「グリーンボンドガイドライン2020年版」および「グリーンローンガイドライン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2020年版」に定義されているグリーンプロジェクトのうち、「再生可能エネルギー」に該当する。

#### b. 環境に対する負の影響について

GPSSグループでは、プロジェクト開発において、予定地が環境に負の影響を与えるような要因（例：鳥獣保護区、国立公園等の特別区域、土砂災害特別警戒区域、河川・砂防等の区域）やその他の要因（例：埋蔵文化物がある地域、地方自治体がすでに利用予定等）を有しているかを社内で検討を行い、社内独自の評価基準に基づき、プロジェクトの決定を行っている。JCRではプロジェクトの開始時のみならず、進捗に従って数回のデューデリジェンスを行っていることや、環境に対して負の影響がある場合については、対策が施されるまで工事を停止すること、案件の大きさに応じて、第三者機関の技術評価レポートや法律事務所の意見等も参考にしていることをヒアリングにて確認している。

### GBPにおける資金使途の分類:

- |  |   |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 再生可能エネルギー  | <input type="checkbox"/> エネルギー効率                |
| <input type="checkbox"/> 汚染防止及び管理  | <input type="checkbox"/> 生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理 |
| <input type="checkbox"/> 陸上及び水生生物の多様性の保全   | <input type="checkbox"/> グリーン輸送                 |
| <input type="checkbox"/> 持続可能な水資源および廃水管理   | <input type="checkbox"/> 気候変動への対応               |
| <input type="checkbox"/> 高環境効率商品、環境適応商品、環境に配慮した生産技術及びプロセス  | <input type="checkbox"/> グリーンビルディング             |
| <input type="checkbox"/> 発行時点では明らかでなかったが、現時点においてGBP分類に該当することが予想される、または、まだGBP分類に含まれていないが適格グリーンプロジェクト分野と思われるもの | <input type="checkbox"/> その他                    |

GBP以外のタクソミー(プロジェクト分類)を使用している場合はそれを特定すること。:

## 2. プロジェクトの評価と選定プロセス

### 本項目に係るコメント欄：

発行体は資金使途について、明確な環境面での目標、プロジェクトの選定基準およびプロセスを定めている。当該事項は、JCRによる評価レポートの中で開示されている。

### 評価と選定

- |   |   |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 発行体の環境面での持続可能性に係る目標が定められている                 | <input checked="" type="checkbox"/> 対象事業が選定基準分類に適合していることを決定するプロセスが文書化されている    |
| <input checked="" type="checkbox"/> グリーンボンドの資金使途としての適格プロジェクト基準が定義され、透明性が確保されている | <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施に伴うESGリスクの可能性が特定され、管理されるプロセスが文書化されている |
| <input checked="" type="checkbox"/> 事業の評価と選定基準の概要が公表されている                       | <input type="checkbox"/> その他  |

### 責任及びアカウンタビリティに係る情報

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 評価・選定基準は外部からのアドバイスまたは検証を受けている | <input checked="" type="checkbox"/> 社内で評価している |
| <input type="checkbox"/> その他                           |   |

## 3. 調達資金の管理

### 本項目に係るコメント欄：

グリーンファイナンスの資金使途は、本評価レポート内に記載している通り、既往および建設予定（建設中含む）太陽光、風力および中小水力の設備投資資金、もしくは設備投資資金のリファイナンスであり、これ以外の目的に充当される予定はない。

調達された資金は、GPSSの口座に入金後、SSIMの管理する口座に移動されて管理される。その後、SSIMから対象となるグリーンプロジェクトに充当が行われる。GPSSからSSIMへの資金移動は、GPSSの取締役会にて決定され、SSIMから対象のグリーンプロジェクトに充当はSSIMの経理財務部の責任者の決裁のもとで行われている。JCRでは、対象のグリーンプロジェクトへの充当がSSIMからプロジェクトごとに設立された特別目的会社への出資の形態で行われており、プロジェクト毎に分別管理が行われていることを確認している。なお、調達された資金は、四半期ごとに確認が行われており、未充当資金がある場合は、預金にて管理が行われることを確認している。以上よりJCRでは資金管理について、妥当性および透明性は高いと評価している。

### 調達資金の追跡管理：

- |  |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> グリーンボンドの調達資金は分別管理され、または適切な方法で発行体によって追跡管理されている。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 未充当資金の一時的運用方法について、開示されている。                     |
| <input type="checkbox"/> その他   |

### 追加開示事項：

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 新規投資への充当のみ | <input checked="" type="checkbox"/> 既存・新規投資両方への充当 |
|-------------------------------------|---|

- 個別の支出に充当  ポートフォリオベースの支出に充当  
 未充当資金のポートフォリオバランスを開示  その他

#### 4. レポーティング

##### 本項目に係るコメント欄：

##### a. 資金の充当状況に係るレポーティング

グリーンファイナンスで調達した資金の用途は、GPSSのウェブサイトにて年1回開示される予定である。その内容は、資金充当の対象となったグリーンプロジェクトの概要、グリーンプロジェクトへの充当額、未充当資金に関する項目（額または割合、充当予定時期、運用方法）である。JCRでは、上記開示項目は適切であると考えている。

##### b. 環境改善効果に係るレポーティング

GPSSでは、環境改善効果のレポーティングとして、適格グリーンプロジェクトによって削減されたCO2排出量、発電量、世帯分換算値の3項目を開示する予定である。これら3項目については、定量的指標であり、JCRでは適切であると判断している。

##### 資金用途のレポーティング：

- 個別プロジェクト・ベース  プロジェクトのポートフォリオ・ベース  
 個別債券への紐づけ  その他

##### レポーティング情報：

- 充当金額  投資額に占めるグリーンボンドによる資金充当の割合  
 その他：

##### 頻度：

- 年に一度  半年に一度  
 その他：

##### インパクトレポーティング：

- 個別プロジェクト・ベース  プロジェクトのポートフォリオ・ベース  
 個別債券への紐づけ  その他

##### 頻度：

- 年に一度  半年に一度  
 その他：

##### レポーティング情報（理論値または実績値）：

- GHG 排出量 / 削減量  エネルギー削減量  
 水使用削減量  その他ESG指標

## 開示方法

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 財務諸表における公表                                    | <input type="checkbox"/> サステナビリティレポートにおける公表              |
| <input type="checkbox"/> アドホック（非定期）刊行物における公表                           | <input checked="" type="checkbox"/> その他：<br>ウェブサイトにおける公表 |
| <input type="checkbox"/> レポートの外部レビュー<br>資金充当状況及びインパクトレポートが外部レ<br>ビュー対象 |  |

## 有用なリンク

GPSSのESGに係る取り組み	<a href="https://gpssgroup.jp/about-us_esg/">https://gpssgroup.jp/about-us_esg/</a>
JCRのグリーンファイナンス評価手法	<a href="https://www.jcr.co.jp/greenfinance/">https://www.jcr.co.jp/greenfinance/</a>

## 外部レビューを受けた場合、その種類

- |                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> セカンド・オピニオン | <input type="checkbox"/> 認証                    |
| <input type="checkbox"/> 検証         | <input checked="" type="checkbox"/> スコアリング/格付け |
| <input type="checkbox"/> その他:       |  |

レビュー提供者: 株式会社 日本格付研究所

公表日: 2020年3月26日

## グリーンボンド原則に定められた、独立レビュー業者の役割

1. **セカンド・パーティ・オピニオン**：環境に関する専門知識を持ち、発行体から独立した機関は、セカンド・パーティ・オピニオンを出すことができる。そのような機関は、グリーンボンドフレームワークに関する発行体のアドバイザーからの独立性や、情報障壁など適切な手順を機関内に設け、セカンド・パーティ・オピニオンの独立性を保証することが必要である。セカンド・パーティ・オピニオンは通常グリーンボンド原則への準拠に関する評価を伴い、特に、発行体の包括的な目標、戦略、環境に関する持続可能性に関する方針および（または）プロセスおよび資金使途となるプロジェクトの環境に関する持続可能性の評価が含まれる。
2. **検証**：発行体は、ビジネスプロセスに関するおよび（または）環境基準についての設定された基準に関する第三者検証を受けることができる。検証は内部または外部基準または発行体による目標に沿っているかにフォーカスする。また、対象資産の環境に関する持続可能な特徴の評価は"検証"と呼ばれ、外部基準を参照することができる。発行体の資金管理、グリーンボンドによる調達資金の配分に関する内部追跡システム、環境へのインパクトまたは、グリーンボンド原則への準拠に関する保証または証明も"検証"と呼ぶことができる。
3. **認証**：発行体は、グリーンボンドフレームワークに関連したグリーンボンドまたは資金使途は、認識されている外部グリーン標準・ラベルの認証を受けることができる。標準またはラベルは、特定の基準を定義し、その定義は認証基準に沿っているかを証明できる能力を有し、認定された第三者機関によって、その基準に沿っているかどうかを検査される。
4. **グリーンボンドスコアリング・レーティング**：発行体は、グリーンボンドフレームワークに関連したグリーンボンドまたは資金使途は、スコアリング・レーティング手法を有している専門調査会社や格付機関といった第三者によって評価もしくは調査されることことができる。成果物は、環境改善のデータ、グリーンボンド原則に準じたプロセスまたはその他2度目標などのベンチマークにフォーカスしたものが考えられる。スコアリング・レーティングは、重要な環境リスクを反映しているとしても信用格付とは明確に異なる。